



徳成寺 寺とまから版 第156号 2019年12月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

2019年も終わりますが、幸せな一年を過ごされましたか？

先日、幸せには二種類あるというお話を聞きました。一つは

長続きしない幸せと、もう一つは長続きする幸せです。長続きしない

幸せとは、お金やモノ・社会的地位です。一方、長続きする幸せとは健康や

心のやすらぎ・生きがいだそうです。富や名声は、あの世には持って行けないと

よく言いますが、では何を持って旅立てばいいのでしょうか？私たちにどうしても

必要なものはただ一つのような気がします。それを教えているのが仏教です。

年の瀬に、長続きしない幸せを追うのは程々にして、長続きする幸せに

じっくり取り組むよう、今一度姿勢を正して新年を迎えましょう。

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています。長男です。

先月は出張読経で松山に行ってきました。2時間かけて十数年ぶりに訪れた松山に行って帰ってくるだけなのも味気ないなと思い、道後温泉本館の温泉に入ってきました。本館が修繕工事の為、他のお部屋は入れませんでした。ロングドライブの疲れの癒えが確かに感じられるいいお湯でした。修繕中の部分には手塚治虫の「火の鳥」のイラストが描かれた大きなカバーがかけられていました。道後温泉は日本三大古湯として知られ、古くは万葉集にも記述があるということで、図らずも令和元年の締めにあつたというのか、めぐり合わせというのはあるものなのだなと感じた出張でした。

これからも寒さが一段と厳しくなっていくと思いますので、皆様も暖かくして下さい。元気に年が越せるようにお祈り申し上げますと共に、今年最後のかから版の結びとさせていただきます。来年もよろしくお祈りいたします。

